

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【公開番号】特開2016-161777(P2016-161777A)
 【公開日】平成28年9月5日(2016.9.5)
 【年通号数】公開・登録公報2016-053
 【出願番号】特願2015-40652(P2015-40652)
 【国際特許分類】

G 0 9 G 5/00 (2006.01)
 G 0 6 T 5/00 (2006.01)
 H 0 4 N 5/74 (2006.01)
 G 0 9 G 5/36 (2006.01)
 G 0 9 G 5/377 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 5/00 5 3 0 H
 G 0 6 T 5/00 7 2 5
 H 0 4 N 5/74 D
 G 0 9 G 5/36 5 2 0 D
 G 0 9 G 5/36 5 2 0 L
 G 0 9 G 5/00 5 3 0 M

【手続補正書】
 【提出日】平成30年2月20日(2018.2.20)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0008
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0008】

本発明の表示装置は、入力画像を変形して表示部に表示させる表示装置であって、前記入力画像の変形を行う画像変形部と、前記画像変形部から前記入力画像を変形した変形後画像のデータが入力された場合に、前記変形後画像のデータを出力画像のデータとして出力し、前記画像変形部から前記変形後画像のデータが入力されない場合に、前記変形後画像の背景となる背景画像のデータを前記出力画像のデータとして出力する出力画像生成部と、前記出力画像生成部から入力される前記出力画像のデータに基づいて、出力画像を構成し、前記表示部に表示させる画像処理部と、を備えることを特徴とする。

本発明によれば、画像の変形に伴う画像の表示画質の低下を抑制することができる。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0042
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0042】

次に、選択部2632は、出力画素と背景画素とを特定する(ステップS23)。選択部2632は、補正後画像P3上の4画素a, b, c, dで囲まれた範囲内にある整数画素を出力画素として特定する。図12(B)に示す4画素a, b, c, dで囲まれた画素Fが出力画素Fとなる。また、選択部2632は、補正後画像P3上の4画素a, b, c, dで囲まれなかった整数画素が存在する場合、この整数画素を背景領域に含まれる背景画素として特定する。選択部2632は、背景画素に分類された補正後画像P3上の整数

画素の座標（画素位置）を表す背景座標情報（位置情報）を生成する。

【手続補正3】

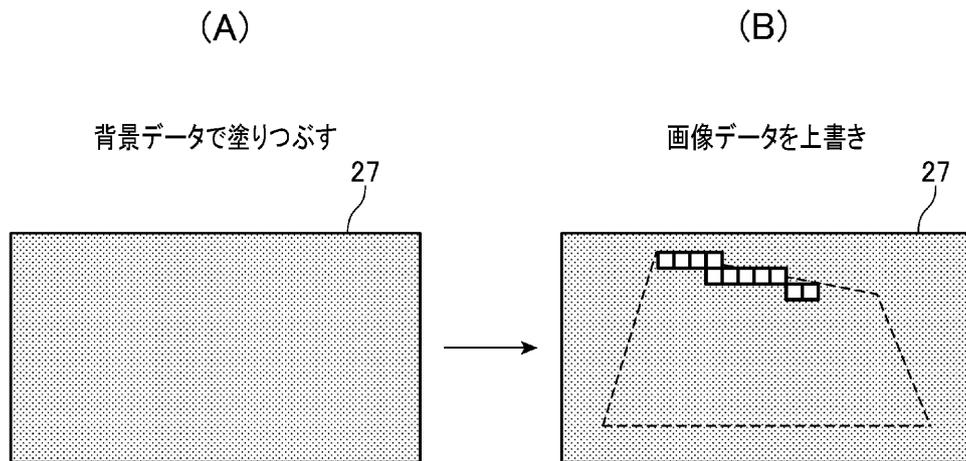
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図7】



【手續補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図13】

